

教育課程

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備 考	授業形式
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験・実習		
基礎科目	文化科目群 スポーツ文化・ 文化科目群	スポーツ共生社会特論	1前	2			○				●
		スポーツインテグリティ特論	1前	2			○				●
		障害者スポーツ実践特論	1後		2		○				●
		発育発達学特論	1前		2		○				●
	小計(4科目)		—	4	4	0	—				
専門科目	身体運動・コーチ科学科目群	身体運動学特論	1前		2		○				●
		スポーツコーチング特論	1後		2		○				●
		スポーツ心理学特論	1前		2		○				●
		スポーツメンタルトレーニング特論	1後		2		○				●
		実践トレーニング特論	1前		2		○				●
		環境生理学特論	1前		2		○				●
		スポーツ理学療法学特論	2前		2		○				◆
		スポーツ医学特論	1前		2		○				●
		スポーツ栄養学特論	1前		2		○				◆
	スポーツ人文・社会科学科目群	スポーツ哲学特論	1後		2		○				●
		スポーツ史特論	1後		2		○				●
		スポーツ社会学特論	1後		2		○				●
		スポーツビジネス特論	1前		2		○				●
		スポーツマネジメント特論	1後		2		○				●
		スポーツ人類学特論	1後		2		○				●
		保健体育科教育特論	1後		2		○			共同	●
小計(16科目)		—	0	32	0	—					
展開科目	コーチ科学 科目群	スポーツコーチング演習A	2前		2			○		共同	◆
		スポーツコーチング演習B	2前		2			○		共同	◆
	スポーツ人文・ 社会科学 科目群	スポーツフィールドスタディ演習A	2前		2			○		共同	◆
		スポーツフィールドスタディ演習B	2前		2			○		共同	◆
	小計(4科目)		—	0	8	0	—				
研究指導科目		スポーツ科学研究Ⅰ	1前	2				○			
		スポーツ科学研究Ⅱ	1後	2				○			
		スポーツ科学研究Ⅲ	2前	2				○			
		スポーツ科学研究Ⅳ	2後	2				○			
	小計(4科目)		—	8	0	0	—				
合計(28科目)			—	12	44	0	—				

※開講科目、開講期等は現時点の予定であり、変更の可能性があります。
●：対面・オンライン併用 ◆：対面（一部開講回でのオンライン含む） なし：指導教官と相談の上決定する

修了要件

本研究科に2年以上在学し、基礎科目から6単位以上(必修4単位を含む)、専門科目から14単位以上(研究領域の科目群からの8単位以上を含む)、展開科目2単位以上、研究指導科目8単位、合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、修士論文審査および最終試験に合格すること。



授業風景



修士論文発表会

スポーツ科学研究科の概要

研究科名：スポーツ科学研究科 (Graduate School of Sport Sciences) 入学定員：10名(収容定員20人)
専攻名：スポーツ科学専攻 (Division of Sport Sciences) 取得可能資格※：中学校教諭専修免許状(保健体育)
学位名：修士(スポーツ科学) (Master of Sport Sciences) 高等学校教諭専修免許状(保健体育)
※取得にあたっては、専修免許状の基礎となる1種免許状(保健体育)を取得していること。あるいは、1種免許状(保健体育)を取得見込みであること。

入学試験

入学試験志願者は、事前に論文指導を希望する本研究科の教員と相談を必ず行ってください。相談のご連絡は日本福祉大学美浜事務室（スポーツ科学研究科担当）へ電話またはメールにて連絡してください。

【入学相談会申し込み】
スポーツ科学研究科を
クリック



入学試験区分	一般入学試験	AO入学試験	スポーツ科学部特別入学試験
出願期間	[第1期] 2023年10月16日(月)～2023年10月23日(月) [第2期] 2024年1月9日(火)～2024年1月22日(月)		
試験日	[第1期] 2023年11月5日(日) [第2期] 2024年2月10日(土)		
合格発表日	[第1期] 2023年11月11日(土) [第2期] 2024年2月17日(土)		
選抜方法	●「書類」 各種申請書類 ●「筆記：英語」 スポーツ科学の自然科学分野および人文社会科学分野の設問各1問(計2問)を出題(辞書持込可 ※電子辞書不可) ●「筆記：小論文」 スポーツ科学領域の共通設問と、選択したスポーツ科学領域に関する設問の2題を出題 ●「面接」 志願理由および研究テーマなどに関する事項	●「書類」 各種申請書類 ●「筆記：小論文」 スポーツ科学領域の共通設問と、選択したスポーツ科学領域に関する設問の2題を出題 ●「面接」 志願理由、競技成績、実務経験、研究テーマなどに関する事項	●「書類」 各種申請書類 ●「面接」 志願理由および研究テーマなどに関する事項
試験会場	美浜キャンパス		

学費(2024年度予定)

入学金(初年度のみ)	200,000円
授業料(年間)	600,000円
施設維持費(年間)	142,500円
学生教育研究災害障害保険料(2年間)	1,750円
学研災付帯賠償責任保険料(2年間)	680円
合計(初年度通常学費)	944,930円

本学学部卒業生、本法人が設置する専門学校および付属高等学校卒業生の入学金は半額となります。

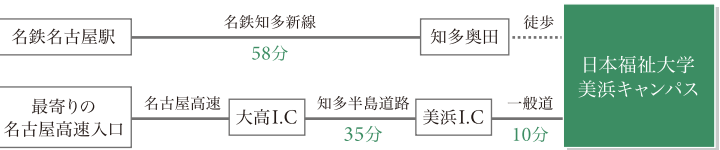
長期履修制度(2023年4月より導入)

標準修業年限の2年では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、あらかじめ計画的に3年間での修学を認める制度です。本制度の適用を申請し、それが認められた場合の学費は、通常の2年間分の学費を3年間で分割納入することができます。なお分割納入の方法としては、1年目は通常学費、2・3年目は通常学費の半分ずつを分割する形となります。

オンライン併用科目

スポーツ科学研究科で開講する多くの科目が対面だけでなく、オンラインでも開講しています。どの科目がオンライン併用科目に該当するかは左側の教育課程授業形式をご参照ください。

美浜キャンパスへのアクセス



【お車でお越しの方へ】カーナビの目的地を「知多奥田駅」と設定すると、正門へのアクセスが便利です。

●お問い合わせはこちらまでお願いいたします。
日本福祉大学 美浜事務室（スポーツ科学研究科担当）
〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL:0569-87-2322 (代表)
FAX:0569-87-2273
e-mail:sp-g@ml.n-fukushi.ac.jp



日本福祉大学大学院
スポーツ科学研究科
修士課程〈2024〉

Graduate School of Sport Sciences



スポーツ科学研究科設置の趣旨および育成する人材像

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、学校・地域・その他の場において、障害児・者を含む個々の多様なニーズに応えリーダーシップのとれる人材に対する社会的ニーズは、ますます高まっています。そうした情勢を踏まえ、本研究科では、スポーツ科学に関わる理論の探求と研究により学際的かつ実践的な研究成果を構築し、スポーツ科学の発展に寄与できる高度専門職業人の養成をめざします。加えて、多様なスポーツニーズへの理解・倫理観を有し、スポーツ・体育の現場やそれを取りまく社会における課題を解決することで、スポーツ文化を発展、継承できる人材を養成します。

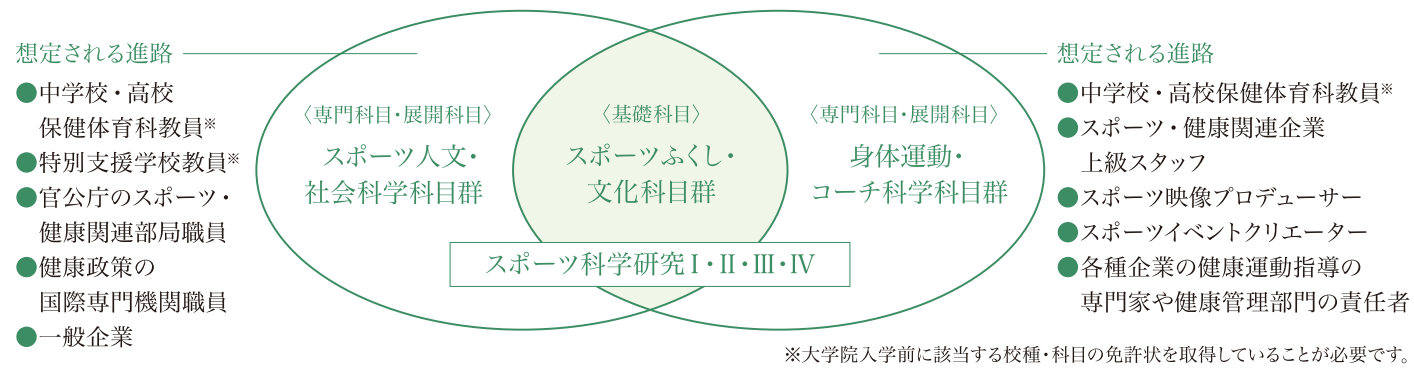
修了後の進路

- (1) スポーツ関連組織のスタッフ：競技スポーツの指導者と、それを支えるスポーツ科学センター等の研究員や医・科学サポートスタッフ、国内外の各種競技団体スタッフ、スポーツクラブのエグゼクティブマネージャー、専門的知識を備えたアスリート等
- (2) 教育職：中学校・高等学校保健体育科教員※、特別支援学校教員、特別支援学級教員※
- (3) 行政職：官公庁のスポーツ・健康関連部局の職員、健康政策の国際専門機関職員等
- (4) 一般企業：①スポーツクラブ等スポーツを直接的に扱う企業（スポーツ・健康・フィットネス関連企業等）の上級スタッフ、研究開発職等 ②スポーツを間接的に扱う企業の上級スタッフ（メディア産業の基幹要員、スポーツ映像プロデューサー、スポーツイベントクリエイター等） ③スポーツに関連のない企業の健康運動指導の専門家、健康管理部門等の責任者等
- (5) 研究職としての研鑽を積むために他大学院の後期課程への進学等

※大学院入学前に該当する校種・科目の免許状を取得していることが必要です。

教育課程

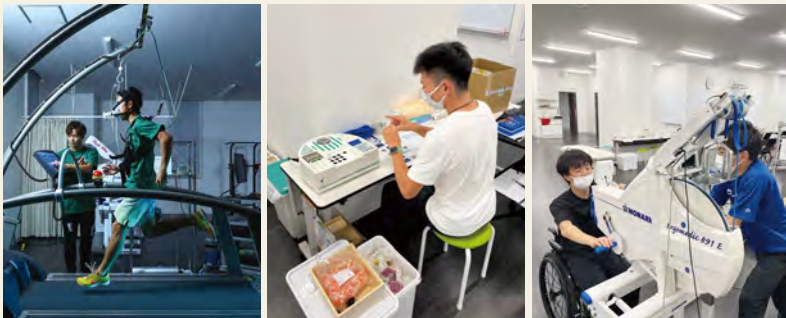
基礎科目は「スポーツふくし・文化科目群」によって編成し、関連する科目を、専門科目と展開科目に配置しています。修士論文は「スポーツ科学研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」によって完成させる構造となっています。



Sports lab SALTO

～研究を支える充実の学修環境～

移動路が完全バリアフリー設計の学習施設「スポーツラボ・サルト」には各種実験室をはじめ、バスケットボール公式コート3面がとれる演習室、25m×6コースのメインプールと水深可変（0～120cm）のサブプール20m×2コースを備えた屋内温湯プールなどを完備。高度な演習・研究に応えます。



大学院担当専任教員 ※QRコードから各教員の業績をご確認いただけます。



スポーツ史分野の研究指導を行う。ヨーロッパ、アメリカ、日本を含むアジア諸国における各時代におけるスポーツの実態や普及、組織化等に関する研究を指導する。

教授
新井 博



スポーツマネジメント、スポーツビジネス分野の研究指導を行う。スポーツ組織のマネジメントに関わる諸問題、法律やファイナンス、スポーツ消費者やマーケットセグメンテーション等に関する研究を指導する。

准教授
住田 健



スポーツ生理学、環境生理学分野の研究指導を行う。高地環境下、寒冷環境下、暑熱環境下でのトレーニング効果や生理機能の変化、運動と熱中症や体温調節等に関する研究を指導する。

教授
西村 直記



身体運動学分野の研究指導を行う。身体構造と機能、スポーツバイオメカニクス、パフォーマンス分析、運動制御等に関する研究を指導する。

准教授
松田 有司



トレーニング方法分野の研究指導を行う。各ライフステージにおけるトレーニング効果、効果的かつ安全な運動処方、女性のトレーニング等に関する研究を指導する。

教授
山根 真紀



健康教育学、発育発達学、行動科学分野の研究指導を行う。ヘルスプロモーションをふまえた発育発達、行動変容、ホリスティック等に関する研究を指導する。

教授
吉岡 隆之



※修士論文指導は担当しない



スポーツ理学療法分野の研究指導を行う。スポーツ外傷の発生に関係する動作等の要因分析から、外傷予防やリコンディショニングの方法と効果等に関する研究を指導する。

教授
小林 寛和



スポーツ社会学、障害者スポーツ分野の研究指導を行う。障害者のスポーツを含むスポーツ事象の発生機序、意味や構造、メディア分析、歴史社会学等の研究を指導する。

教授
藤田 紀昭



スポーツコーチング分野の研究指導を行う。健康者および障害者のコーチングの方法、コーチングに関するデータと分析等に関する研究を指導する。

教授
三井 利仁



スポーツ心理学分野の研究指導を行う。行動制御、学習、知覚、認知、動機づけ、神経科学等に関する研究を指導する。

准教授
山本 真史



スポーツ人類学分野の研究指導を行う。伝統スポーツの伝承や存続条件、各時代、社会における生活構造とスポーツ文化の関係性や変遷の実態等に関する研究を指導する。

教授
吉田 文久



スポーツ哲学、スポーツ倫理学分野を専門とする。スポーツの価値や意味、スポーツのエトスや倫理、インテグリティ、ドーピング問題等に関する研究を行う。

講師
高尾 尚平※



大学院生VOICE

大学では健康スポーツについて学んでおり、卒業後はスポーツコーチングについて学ぶためアメリカの大学への留学を目指していました。新型コロナウイルス感染症拡大のため留学ビザが取得できずにいたところ、大学時代の恩師から日本福祉大学にスポーツ科学研究科が新設されることを知りました。研究に魅力を感じる教員と出会えたこともあり、進学を決意しました。

修士論文では「スポーツにおける指導者のリーダーシップが選手の心理的特徴に与える影響」を明らかにすることを目的に、全国の大学を対象としたアンケート調査の実施をしています。研究の内容は、現在スポーツにおける社会問題の1つとして挙げられる「指導者による選手への体罰や暴力行為」の解決に向けて、指導者側のリーダーシップのあり方を探るものです。コロナ禍により、人と会うのが難しくなりましたが、大学院ではディスカッションやプレゼンが多く、場の空気感を感じられる対面形式が楽しいです。卒業後はアメリカに留学することを目標に、語学の勉強にも取り組んでいます。



ち ば ほうか
千葉 遼さん

2021年度入学

2020年3月

園田学園女子大学
人間健康学部卒業

スポーツと福祉の2つの側面からの学びを強く希望していたこと、日本福祉大学通学時より「スポーツを360°科学する」というモットーのもとに、幅広い視点で学びを深めることができたと感じていたため、引き続きこの大学で勉強することを選びました。

現在は、バレーボール選手の予測能力に関する研究を進めています。予測能力を向上させるトレーニングを開発することで、バレーボール選手のパフォーマンス向上に繋がるのではないかと考えています。研究をするに当たっての実験環境が整備されており、その中で指導教員の先生より、研究の内容や進め方など多くのことを教えていただいています。卒業後は、大学院で専修免許状を取得して高校の教師になることや、研究を続けて研究職に就くこと、バレーボールの指導者となることを考えています。さらには、“福祉に関する知識”を使い、今後の福祉に貢献できる仕事に就くことにも魅力を感じています。大学院までの学びを通し、幅広い視点を持てるようになり、進路の幅も広がっていると感じています。



きくち ひろき
菊池 洗希さん

2022年度入学

2022年3月

日本福祉大学
スポーツ科学部卒業

院生の研究テーマ・内容

- ・研究テーマ「大学生アスリートの競技ストレッサーがストレス関連成長に及ぼす影響」

約300名を対象に調査（アンケート）を行い、大学生アスリートのストレス関連成長（ネガティブなストレスイベントの経験により価値観が肯定的に変容し、自立・自律を促し、ストレス対処能力が強化されること）に影響を及ぼす日常・競技ストレッサーを明らかにし、性差や学年差、競技属性や競技経験年数などの関連要因について検討する。

- ・研究テーマ「スポーツファンの消費行動を導く要因の検討」

プロスポーツチームのファンを対象にオンライン調査を実施し、内集団ひいきとしてスポーツファンの消費行動に焦点を当て、その背後にあるメカニズムがどのように作用するのか明らかにする。

- ・研究テーマ「有酸素運動時（同一種目）における健康者と脊髄損傷者の酸化ストレスマーカーの変動の違いについて」

10名程の被験者を対象に、運動負荷試験や血液検査を行い、運動による生体内の酸化ストレスマーカーの変動について調べ、脊髄損傷者と健康者のスポーツの安全性を明らかにする。

研究指導に関する流れ

